

自動販売機で高級車購入！

シンガポール駐在員事務所
島 宗辰

皆様は自動販売機で何を購入されますか？最初に思いつくのはジュース・お茶等の飲料でしょうか。日本はその治安の良さから、いろんなところで自動販売機を目にすることができます。今日はその自動販売機を使って、シンガポールで売られているものを紹介しようと思います。

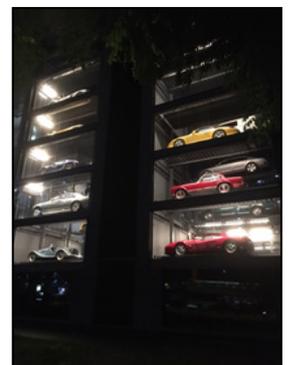
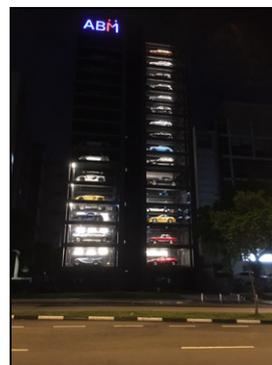
最初に紹介するものはぬいぐるみ・アクセサリー等、ギフトの自動販売機です。人件費や賃料の高騰から実店舗を閉鎖し、自動販売機での販売に切り替えたところ、諸経費は約 70%減少。店舗販売と比べ、扱える品目が減少した為、売上げが落ちたものの、利益率は向上。狭いスペースで出店できることから設置ペースが早く、登場から半年で 25 台設置されています。



2つ目はチキンライス等の暖かい食べ物の自動販売機です。日本にはうどん・そばの自動販売機（かなり古い機種ですが）がありましたが、ここシンガポールには暖かい食べ物売る自動販売機はありませんでした。稼働時間は午前 7 時から午後 11 時までで、1 日 2 回商品が入れ替えられるそうです。イメージとしては飛行機の中で提供される機内食のような感じです。購入ボタンを押すと、セントラルキッチンで調理され、自動販売機内で保温された料理が出てきます。

次は金の自動販売機。本コラム執筆時現在、この自動販売機は撤去されていましたが、2 年前には、形が独特で屋上のプールが有名なホテル、マリーナベイサンズにこの自動販売機は設置してありました。金は 1~10 グラムで購入でき、マーライオン等のデザインを選ぶことができます。公表されている金の取引価格と比べると少し割高な金額で販売されていたようですが。資産として金を持つ方ではなく、シンガポール訪問・カジノで勝った記念で購入される方のための自動販売機ではないでしょうか。高級品を扱っていることから、セキュリティがしっかりしており、自動販売機の上部には監視カメラが備え付けられていたそうです。

最後は自動車、しかもフェラーリ等の高級スポーツカーの自動販売機です。ビルの 15 階分のスペースを利用し、各階 2 列×2 台、高級車を展示。1 階に設置してあるタブレットのタッチスクリーンで車を選択すると、1 分程度で車が目の前に下りて来きます。その様子はまるで、子供時代に遊んだミニカーを思い出させます。店員の許可の下でタブレットを操作することとなるのですが、展示してある車の移動だけでなく、購入もタブレットで行います。



筆者撮影

最後の 2 つは日常生活とは少しかけ離れていますが、多くのところで自動化・効率化を図っているところがシンガポールらしいところですね。先進国では人口減少による労働力不足が危惧されていることから、近い将来、多くの分野で自動販売機が活躍することでしょう。